

バングラデシュ

大ダッカ圏電話網整備事業



本事業により増設された電話交換局

[借款概要]

承諾額/実行額	6,320百万円 / 5,987百万円
借款契約調印	1986年7月
借款契約条件	金利1.25%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1992年7月

[事業概要]

大ダッカ圏北部地域の電話交換施設及びケーブル等の局外施設を拡充することにより、電話通信の質的向上を図るとともに電話需要の増加に対処するもの。

[評価結果]

本事業は電話需要の増加が著しいダッカ首都圏北部地域を対象として、中央交換機の増設（5,400回線）及び地域内交換機の増設（26,000回線）、局間ネットワーク（6区間）の拡充等を実施し、同地域で初めて交換機回線のデジタル回線及び局間ネットワークの光通信ケーブルが導入された。

バングラデシュの電話普及率（台/100人）は、本事業計画時（1987年）の0.19から完成時（1992年）には0.22、更に2000年には0.51へと改善されており、本事業による通信インフラの整備が相応の貢献をしたものと評価される。

他方、同国の電話需要は引き続き増加しており、積滞回線数は2000年には約20万回線を上回っている。このため、電話回線の運用率は通常75%～80%であるのに対し、本事業の対象地域では事業完成後も90%を越える。

同国の電話通信の障害発生率や通話完了率は、アジア諸国の平均を下回っていることから、今後、本事業により導入した設備の適正な維持管理とともに、通信設備の一層の拡充が望まれる。